

新中区配水池新設工事(代替案)

説明会資料

令和 6年 6月11日
俱知安町水道課

新中区配水池新設工事の代替案について

はじめに

新中区配水池の工事説明会の開催が遅くなりましたことを、深くお詫び申し上げます。また、今後このようなことがないように十分注意してまいります。

新中区配水池の新設工事について、要望書やこれまでの工事説明会等におけるご意見を踏まえまして、次のとおり代替案を検討しました。

この代替案によりまして、景観に配慮した地域にふさわしい配水池の整備を水の供給に支障が出ないように、できる限り早期に進めてまいりますので、ご理解・ご協力を賜りたく存じます。

1. 位置等

代替案として90度時計回りに転回しゲレンデ側（北西側）に寄せることで、道路側から敷地の奥までの視界を良くするとともに、水槽の有効水深を2.5メートルから3.0メートルにすることにより配水池の面積を縮小（18%程度）します。

【資料1：施設配置図（代替案）】

【資料2：施設配置図（現行案）】

2. 工期

追加設計期間として約4ヶ月を要しますので、工事完成時期は当初案の令和8年12月から令和9年8月にズレ込みます。

なお、参考として、配水池完成後には第2駐車場において、現在の駐車台数を確保すべく、立体駐車場整備の準備を進めております。

【資料3：工事工程表】

3. 事業費

追加設計費は 25 百万円程度で、この財源は水道会計で賄う予定です。

更に、当初の設計が 90 度転回する設計にも活用されることとなるため、当初の設計等の補助金等を返済する必要はないと考えられます。今後確認します。

工事費については、次の施工を想定し増額が見込まれます。

- ・配水池の上を活用するため、現在の天然芝からコンクリートとした場合に 21 百万円程度追加見込み（コンサル聞きとり）

配水池の耐用年数の確保や貯水槽内の水の安全性等を考慮すると、上に車を駐車することはできませんが、夏季の子供の遊び場など人が活用するために、現在の天然芝からコンクリートにすることを検討しています。

なお、コンクリート舗装が補助対象となるかは、今後確認してまいります。

- ・外壁を当初の磁器タイルから木張り（保護着色塗装）に変更した場合に 9 百万円程度追加見込み（コンサル聞きとり）

建物について、形状自体を見直すことは困難ですが、外観については現在の全面磁器タイルより、下 1/3 程度を磁器タイル、上 2/3 程度を木張りとして、景観に配慮した仕上げにすることを検討しています。

【資料 5：90 度転回した場合の事業費のうち A 工事費】

4. 水道供給への影響

令和 8 年 12 月にはひらふスキー場エリアの 1 日最大給水量(最大需要量)は 6,085 m³/日にのぼると見込まれます。

そこで現在、まずは令和 7 年 1 月に新比羅夫浄水場を新設し給水能力を現在 3,885 m³/日から 5,445 m³/日へ引き上げるべく整備を進めています。さらに令和 8 年 12 月に新中区配水池を完成させることにより 6,625 m³/日へ引き上げていく計画としておりました。

代替案により整備を進めるとした場合、上記「**2. 工期**」で示した工期となり、令和 8 年 12 月の最大給水量 6,085 m³/日に対して給水能力は 5,445 m³/日となり、640 m³/日が不足すると見込まれます。

5. 不足給水量の確保

最大給水量の不足は、現在の中区配水池で発生すると見込まれます。中区配水池へは、現在、低区配水池から、100 m³/時のポンプと40 m³/時のポンプで送水（140 m³/時）を行っています。

低区配水池には、100 m³/時のポンプを予備としてもう一台設置していることから、低区配水池の前にディーゼル発電機（100 KVA を想定）を設置し、100 m³/時ポンプを2台同時に稼働（計200 m³/時）させることで、不足量に対応可能であると考えています。

低区の電気設備の容量では100 m³/時のポンプを2台同時に稼働させる能力がないため、発電機が必要となります。

この発電機を使うことにより、レンタル料や作業料等として5.5百万円程度の費用が見込まれます。

【資料5 90度転回した場合の事業費のうちB不足水量の対応費用】

参 考

新中区配水池整備に伴う駐車可能台数減への対応について

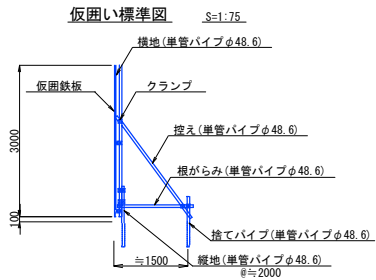
新中区配水池の整備に伴い、現状約250台駐車可能なひらふスキー場第2駐車場の駐車可能台数が80台程度減少します。その対策として、一連のひらふスキー場駐車場再整備の中で、第2駐車場の立体化により250台以上の駐車スペースの確保を検討しており、現在は土地利用調整に関する関係機関協議を進めています。

また、駐車場再整備までの応急的な対策として「サン・スポーツランド臨時駐車場のイベント利用の休止による駐車スペース回復」「従業員シャトルバス運行による従業員利用の低減」を行うほか、代替地についても協議・検討していきます。

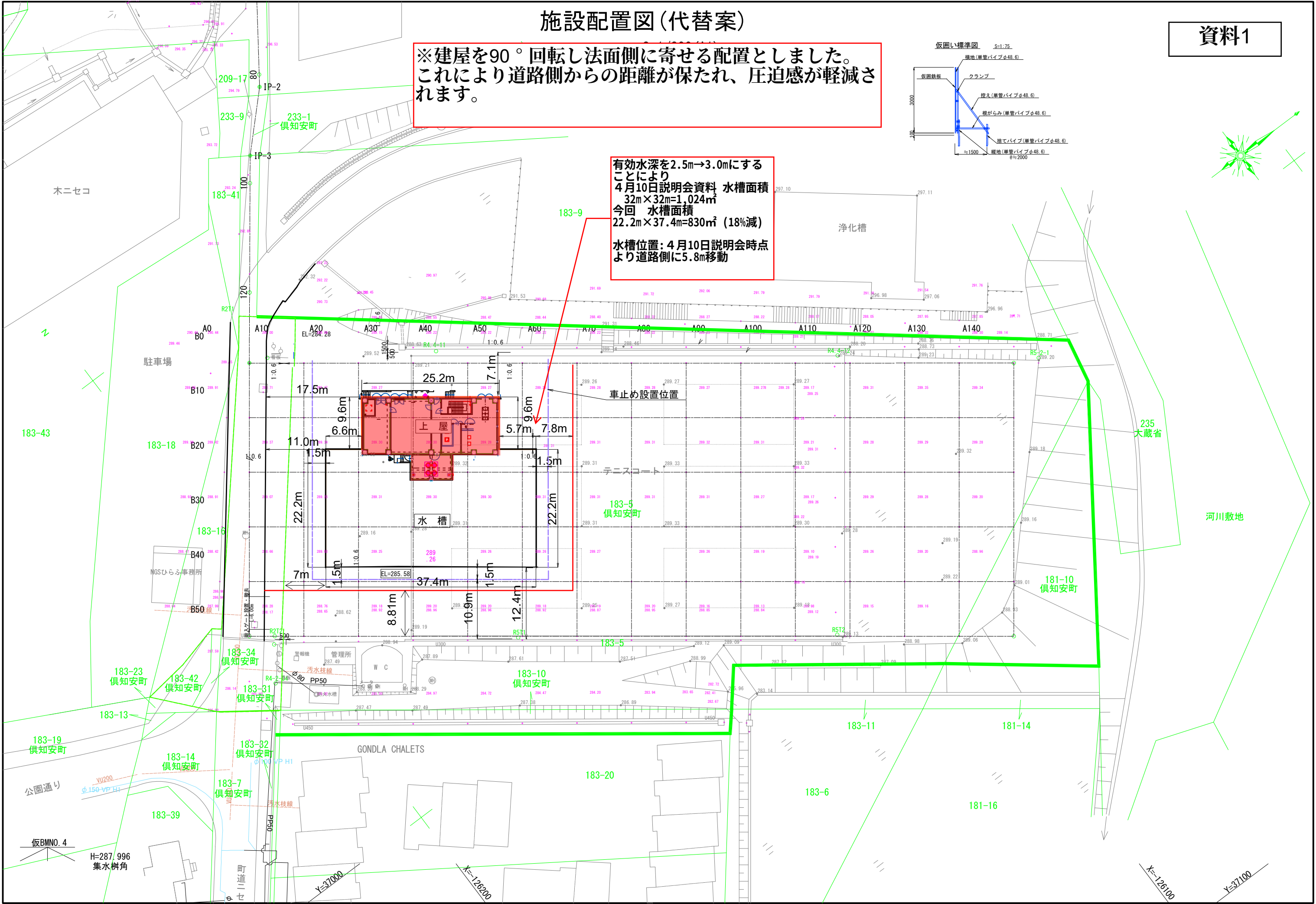
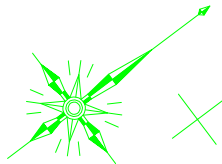
施設配置図(代替案)

※建屋を90°回転し法面側に寄せる配置としました。
これにより道路側からの距離が保たれ、圧迫感が軽減されます。

有効水深を2.5m→3.0mにすることにより
4月10日説明会資料 水槽面積 32m×32m=1,024㎡
今回 水槽面積 22.2m×37.4m=830㎡ (18%減)
水槽位置: 4月10日説明会時点より道路側に5.8m移動

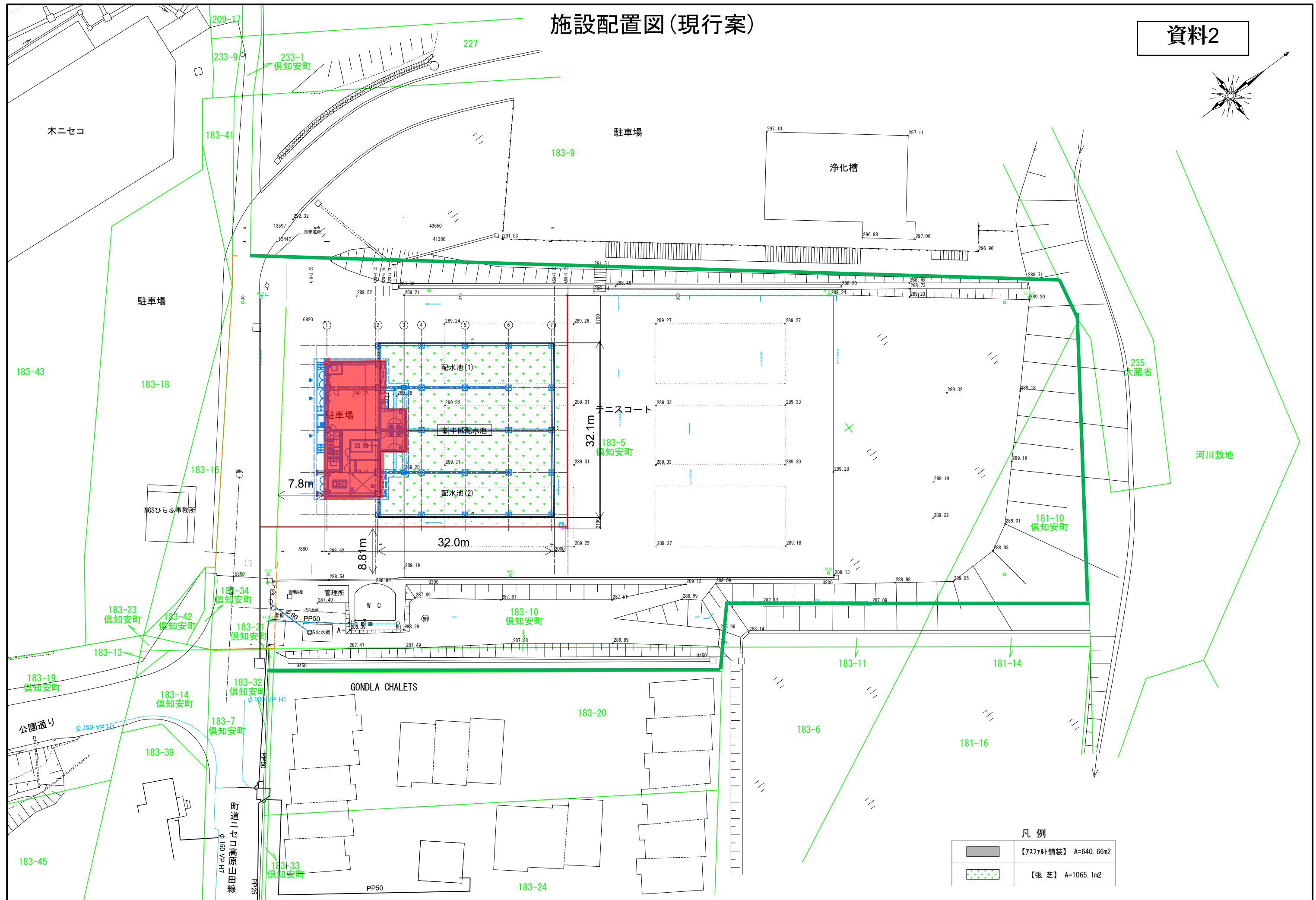
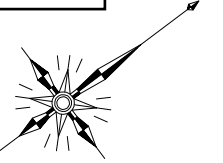


資料1



施設配置図(現行案)

資料2



新中区配水池建設工事工程表（現設計位置で建設した場合）

[illegible]

新中区配水池建設工事工程表（90度転回した場合）

[illegible]

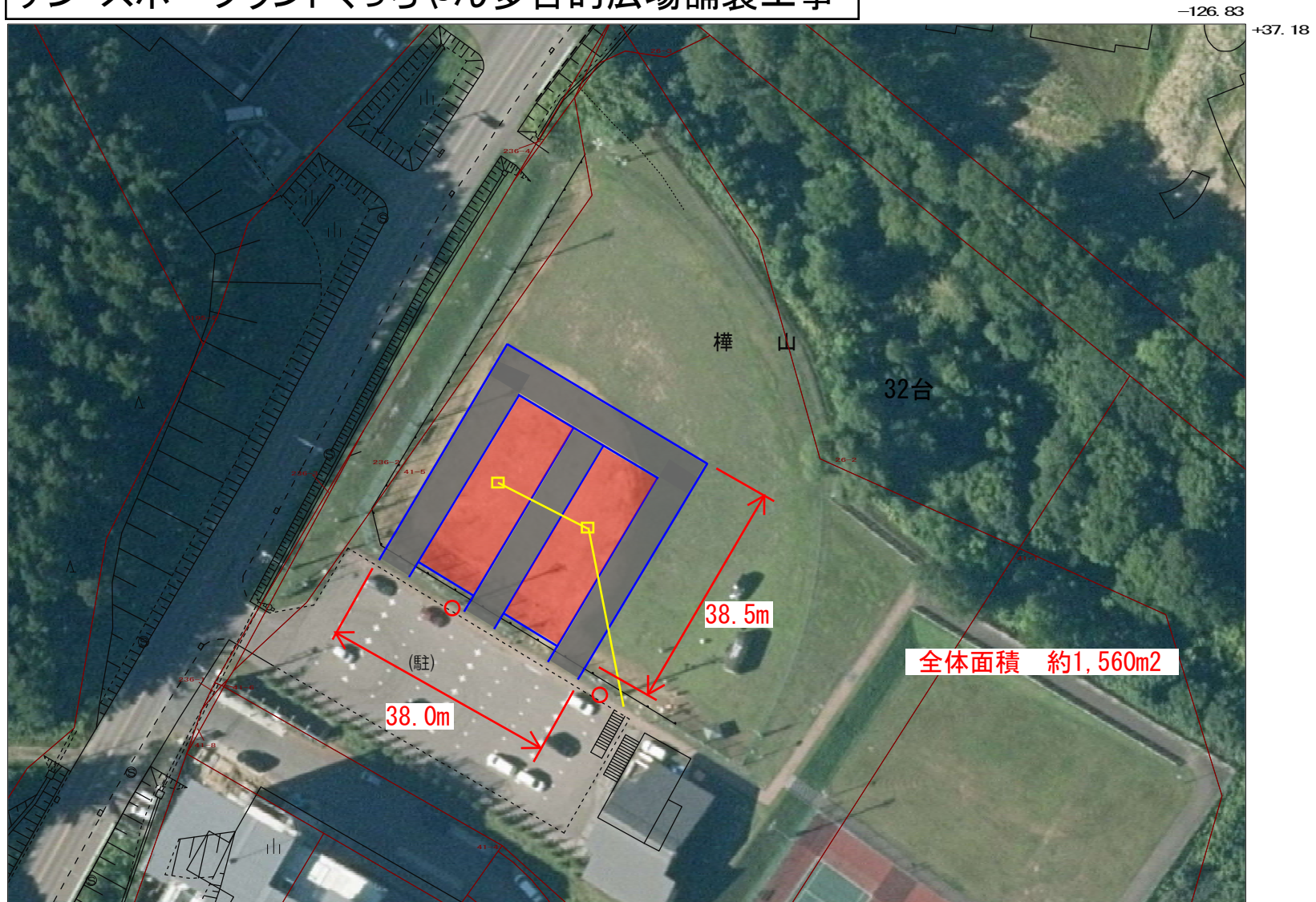
第2駐車場立体化工程表

ひらふスキー場 第2駐車場 (立体駐車場化)	関係機関協議																																					
	設計・許認可整理																																					
	工事施工																									-----												
	供用開始																																					

※新中区配水池工事中における冬季の駐車可能台数減への対策として「サン・スポーツランド臨時駐車場のイベント利用の休止による駐車スペース回復」「従業員シャトルバス運行による従業員利用の低減」を行うほか、代替地についても協議・検討していく。

※ひらふスキー場駐車場整備方針におけるシンボル空間のゾーニングイメージに基づき第2駐車場を立体駐車場化する際の参考スケジュールである。

サン・スポーツランドくっちゃん多目的広場舗装工事



【事業概要】

新中区配水池新設に伴い、第2駐車場の駐車台数が現状から約80～90台減となることを受けて、ひらふエリアにおける冬季の安定的な駐車台数確保のために、サン・スポーツランドくっちゃん多目的広場の一部（グラウンドの内野部分）について舗装工事を行う。

A 工事費等

実施設計				代替案の追加費用				差額分	
区分	工種	内訳	金額	工種内訳		金額		25 百万円	
設計費	土木・建築 ・機械・電気	設計計画・構造計算、	74 百万円	実施済設計分		74 百万円			
		追加設計費		設計計画・構造計算、機能計算		25 百万円			
				設計図作成、数量計算					
	地質調査	ボーリング調査50m 2箇所	15 百万円	実施済地質調査		15 百万円			
①設計費 計			89 百万円	①設計費 計		114 百万円		25 百万円	
工事費	新中区配水池建設工事	土木工事	1,168 百万円	土木工事費の現状分		1,168 百万円		21 百万円	
		建築工事	483 百万円	水槽上部張芝復旧費（不要）		△2 百万円			
				水槽上部コンクリート舗装費		23 百万円			
	新中区配水池機械電気設備工事	電気設備・機械設備	1,140 百万円	建築工事費の現状分		483 百万円		9 百万円	
				磁器質タイル施工費(不要)		△2 百万円			
				木張り施工費		11 百万円			
	②工事費 計		2,791 百万円	電気設備・機械設備		1,140 百万円			
②工事費 計			2,791 百万円	②工事費 計		2,821 百万円		30 百万円	
①設計費＋②工事費			2,880 百万円	①設計費＋②工事費		2,935 百万円		(A計)	55 百万円

B 不足水量の対応費用(発電機レンタル料等)

不足水量の対応費用	内訳	金額	備考
	①100KVA発電機レンタル料 100日(13,112円/日)	1.3 百万円	試運転期間10日含む
	②発電機燃料費 想定稼働時間:8時間/日(16時～24時) 想定期間90日(12月中旬～3月中旬)	1.6 百万円	軽油単価157円/ℓ 燃料消費量14.5ℓ/時間
	③水量の監視及び発電機稼働操作費 想定稼働時間:8時間/日(16時～24時) 想定期間90日(12月中旬～3月中旬)	2.2 百万円	電工の労務単価(24,300円/人日)
	④騒音対策費	0.1 百万円	防音シートで発電機を覆う困いをつくることで、カタログ値60db程度を50db程度へ減少させることが可能。 60db：走行中の自動車内、デパート店内 50db：家庭用のエアコンの室外機、静かな事務所の中
	⑤除雪費(12月中旬～2月中旬)	0.3 百万円	
	(B計)	5.5 百万円	

C 国庫補助金等返還額

新中区配水池実施設計費の財源返還等

新中区配水池実施設計費の財源	財源等	内訳	金額	備考
	生活基盤施設耐震化補助金	実施設計費88,500千円の1/4	0 ～ 0 百万円	当初の設計が90度回転する設計にも活用されることとなるため当初設計等の補助金等を返還する必要はないと考える。今後確認します。
	水道企業債	実施設計費88,500千円より補助金を差し引いた額の1/2	0 ～ 0 百万円	
	一般会計出資債	実施設計費88,500千円より補助金を差し引いた額の1/2	0 ～ 0 百万円	
	(C計)		0 ～ 0 百万円	

○新中区配水池を90度転回した場合の影響額

(A計)工事費等 ＋ (B計)不足水量の対応費用(発電機レンタル料等)+(C計) 国庫補助金等返還額

60.5 百万円